

- 1 主題名（内容項目）：社会のために働くとは（C（14）勤労、公共の精神）
- 2 教材名：十勝で働く喜び【甜菜編】
- 3 学年：第6学年
- 4 本時のねらい

十勝で農業に従事する人たちの「十勝で働くことのやりがいや喜び」について考えたり話し合ったりする活動を通して、働くことや社会（十勝）に奉仕することの喜びや充足感を感じるとともに、その意義を理解し、公共のために役に立とうとする態度を育てる。

5 本時の展開

	学習活動（○主発問 △補助的な発問）	・留意点 ◆評価
導入	1 日常生活の中で、自分の仕事にやりがいや喜びを感じた場面について交流する。 ○ 日常生活の中で、自分の担当する（した）仕事にやりがいや喜びを感じたことはありますか。 ※児童の経験がない場合は、教師の体験等から、働くことの「やりがい」や「喜び」に対する考えをもつ	・自己の経験について交流したり、○○に入る言葉について話し合ったりすることで、価値への方向付けをする。
	自分にとって、働くことの「やりがい」や「喜び」は、○○である。	
展開	2 ○○に入る言葉を交流する。 ○ あなたは、○○にどのような言葉を入れますか。 △ 森さんや○○さんにとって、十勝で働く「やりがい」や「喜び」は何であるかを考えながら動画を見ましょう。 ※Chapter「十勝のよさ再発見」までを視聴	・十勝で収穫した甜菜や、甜菜を育てる農家や甜菜農家を支える仕事に従事する人々について紹介する。
	3 動画を視聴し、森さんや○○さんにとって十勝で働く「やりがい」や「喜び」について交流する。 ○ 森さんや○○さんにとって、十勝で働くことの1番のやりがいや喜びとは何なのでしょう。 ※「地域へ貢献できること」、「お客さんの笑顔」など、児童の意見を交流した後、グループで議論する時間を保障し、1番のやりがいや喜びについて理由を明確にする。 △ 働く上での苦労や挫折は、全くないのでしょうか。 △ 多くの苦労や挫折があっても、十勝で働き続けることを選んだ理由とは何なのでしょう。	・自我関与できるよう関わり方を工夫する。 ・必要に応じて、農業者数減少のグラフ、生産量減少のグラフ等、農業に携わる人々の苦労に寄り添える資料を紹介する。 ◆「十勝で働くことのやりがいや喜びに」について、多面的・多角的に考えている。
終末	4 ○○に入る言葉や、その理由について交流する。 ○ ○○に入る言葉は何ですか。また、その理由は何ですか。 5 本時の課題について自分の考えをまとめ、本時の学習を振り返る。 ○ あなたのこれからの人生の中で、「働く」ということについて、どのように向き合っていきますか。 ※Chapter「地域社会の一員として」を視聴	◆「働くこと」について、自己との関わりで考えている。